

NEW PHASE

ニューフェイズ

～いつも気持ちを新たに、新しい風にのせて～

2025. 2 No. 47

contents

- ★2024年度宿泊研修・基調講演・てい談 … 1
- ★2024年度宿泊研修・講話 …… 2
- ★40周年記念事業 …… 3・4
- ★国際交流事業公演「ひめゆりを忘れない」 …… 5
- ★研修・翼講座 …… 6
- ★賛助会員企業インタビュー …… 7
- ★寄付一覧・賛助会員名簿 …… 8

2024年度 第31回 宿泊研修会

とき：9月28日(土)・29日(日) 場所：リザンシーパークホテル 谷茶ベイ

テーマ：女性の翼40年 世界を知ろう!平和をつなごう!!

基調講演

報道からみる平和への願い

講師：沖縄タイムス社 赤嶺由紀子氏

沖縄タイムスは1948年7月1日に創刊。終戦後は「戦時中に新聞が戦争に加担してしまった」という痛切な反省からスタートした。『鉄の暴風』という本と「台湾有事」の2点についてお話したい。『鉄の暴風』は、住民の視点からみた沖縄戦を当時の記者たちが丁寧に聞いてまとめたもので、沖縄タイムスの「魂」そして「原点」である。いま

やるべきことは見えない不安を煽ることではなく、住民への安全を広げること、平和外交である。台湾有事がリアルに響いていることに危機感を持っている。報道人としてしっかり検証するのが役目だと強く感じている。



てい談

平和をつなぐ想い

登壇者：高良 政勝氏(公益財団法人対馬丸記念会 代表理事)

嘉数真理子氏(ジャパンハートこども医療センター小児科部長)

進行：浦崎美紀子(理事)

浦崎：活動を始めたきっかけは

高良：80年前の集団学童疎開で4歳の私は家族11名で対馬丸に乗り、敵の魚雷攻撃で撃沈された。海に投げられ、イカダにぶら下がり、鼻や口や目に塩水が入って非常に苦しかった。ひとりで生き延びたと思っていたが、背後から父親が抱きかかえてくれていた。

嘉数：中学の頃に父を脳腫瘍で亡くし、医者になり担当した5歳児の患者が脳腫瘍で亡くなったことで小児癌専門医となった。沖縄のこども病院ができた頃に海外との医療格差を知りジャパンハートのカンボジア小児科病院に参加した。

浦崎：いま平和のためになすべき事は

高良：戦争は絶えず、沖縄周辺では住民の避難計画が語られ、80年前に逆戻りしたとを感じる。「避難」の前に外交や話し合いで解決できないのか。戦争は勝っても負けても多くの犠牲、悲しみが出る。

浦崎：カンボジアでの医療経験は日本でつながっているか
嘉数：海外で学ぶ経験はとても大きい。日本は少子化でこどもの患者が減り、医師の経験が積みにくい。海外の経験を日本の医療に還元できる。特に沖縄の医療は人材交流できることがある。

浦崎：これからの活動は

高良：若い人達が対馬丸事件を伝えることが増え希望を持っている。

嘉数：ミャンマー内戦で医療体制が崩壊し、こどもの手術のスタッフが1/3しかいない。来年カンボジアで完成予定の病院で、ミャンマー、ラオスからも助かる命を医療者と受け入れ、帰国して治療できるトレーニング施設にしたい。

浦崎：「日本は今80年前の状況と似ているとお話から、沖縄県内の身近に起きていることに関心を持つことが私たちの課題であり、平和をつなぐことだと思う」と締めくくった。



(左から)浦崎美紀子理事、崎原末子会長、嘉数真理子氏、高良政勝氏、中田美寿代氏

2024年度 第31回 宿泊研修会

テーマ：女性の翼40年 世界を知ろう!平和をつなごう!!

講話 1

女性支援 新法について

講師：沖縄県こども未来部女性力・ダイバーシティ推進課支援企画班 國場百代氏



新法のポイントは売春防止法から脱却させ、先駆的な女性支援を実践する「民間団体との協働」といった視点も取り入れた新たな支援の枠組みを構築した点。大きく「困難を抱える女性」を対象にしたことが重要な着目点であ

り、県としては①相談しやすい環境体制づくり、②包括的かつ継続的な支援、③関連施策の支援体制の充実、を図り、その中で沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センターは24時間体制で稼働し重要な役割を担っている。

講話 2

男女共同参画センターの役割

講師：公益財団法人おきなわ女性財団 常務理事 平 美千子氏



国の「女性版骨太方針2023」で男女共同参画センターの機能強化が謳われ、特に災害時のあり方についてその重要性が強調されている。平時から災害対応を学べるように研修や講座等も展開していかなければならないと考える。ているは開館28年経つが、ジェンダーに関す

る図書も取り揃えており、情報収集・発信の場として活用してもらえると認識している。今年度からは僻地女性への発信ということで、宮古・八重山・名護への貸し出しも始めている。

講話 3

世界のウチナンチュの国際貢献：文化と平和の架け橋

講師：(一社)世界若者ウチナンチュ連合会代表理事 比嘉千穂氏



2011年、世界の若者ウチナンチュ大会が開かれ、海外、沖縄の若者が180名集まり国際会議を開催、「世界の若者ウチナンチュ達に会いに行こう」と、継続的な持ち回りの開催を目指した。翌年第1回世界若者ウチナン

チュ大会をブラジルで実施。このウチナンチュ大会が、世界で羽ばたくウチナンチュと共に「ウチナンチュとしての誇り」と「沖縄との絆を再確認」できる大会が継続されるよう、願っている。



崎原末子会長



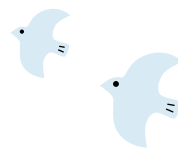
長浜善巳 恩納村長



先輩に聞こう!真喜屋光子2期、岸本能子18期、崎原美智子29期、玉城若子33期

VOICE～響け翼の声リレーメッセージ～

「私たちにできる平和の声」



VOICE～響け翼の声リレーメッセージ～「私たちにできる平和の声」と題し、会員、賛助会員、関係者の平和へのメッセージを録画する企画を開催。宿泊研修時、国際交流事業公演の際に一人ひとりの声を記録した。Facebookで発信、総勢

114名の平和を願う声を届ける。

和気藹々とした雰囲気の中で進められていった撮影。それぞれの想いが言葉と音になって可視化されていく様子は、感慨深くもあった。

〈 懇親会の様子 〉



①参加者集合写真 ②次世代プロジェクトチーム ③トウシビーの皆様 ④懇親会進行係! Koza女性の翼 ⑤長崎信子さんを囲んで ⑥バザーの様子 ⑦VOICE崎原会長

女性の翼40年 世界を知ろう! 平和をつなごう!!

沖縄女性団体交流 & みちのく100年の旅

郡山フロンティア大使 中村よね様が繋ぐ
沖縄と郡山の絆プロジェクト



故 中村よね氏
(1期)

期日: 11月1日(金)~4日(月) 場所: 福島県郡山市

女性の翼40周年と郡山市制100周年を記念して、4団体38名(沖縄県女性の翼、沖縄県煎茶道協会、国際ソロプチミスト沖縄、ジョイネス沖縄団員)で郡山を訪問した。

1日目は、市長表敬訪問し花月菴流福島県支部、大日本茶道学会郡山支部によるお茶会、夕方から国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者の又吉静枝様(玉城流いずみ会家元)と玉城千枝様(玉城流てだの会家元)と郡山を代表する日本舞踊家との豪華絢爛な共演を披露。満席の会場で琉球の至芸に魅了された。2日目は、『こおりやま女性パワー100フォーラム』に選出された福島県を代表する輝く女性たち100名と交流し沖

縄の4団体も活動報告が行われた。また、4団体より郡山市へ10万円の寄付金贈呈が行われた。感動のフィナーレは「結いまる」宣言のうたを合唱した。3日目は、東日本大震災・原子力災害伝承館を視察し災害についての学びを行い夜は交流会でそれぞれの余興など懇親を深めた。本企画は、郡山市と現地女性団体で結成した“沖縄と郡山の絆プロジェクト実行委員会(平川真理子実行委員長)”の協力のもと沖縄県女性の翼としての初の県外主催事業となった。郡山と沖縄の絆を長年紡いでこられた1期中村よね会員が出発直前に逝去された。故人の平和を願う想いも含めて継承したい。



① 郡山市長表敬訪問 ② 永遠瑠・マリルリーズさん(ルワンダの教育を考える会代表)とともに
③ 福島県を代表する輝く女性たち100名と交流 ④ 左から又吉静枝様 玉城千枝様
⑤ 花月菴流福島県支部によるお茶会 ⑥ 沖縄と郡山の絆「結いまる」宣言のうた
⑦ 山内光子氏(6期)デザインファッションショー ⑧ 記念撮影

沖縄県女性の翼 国際交流事業2024

期日: 12月1日(日)

場所: アイムユニバースてだこホール(大ホール) 開会セレモニー: 沖縄平和賞へ寄付金贈呈

公演: オリジナルの脚本「ひめゆりを忘れない」朗読 / 竹下景子 音楽 / 石塚まみ

多くの犠牲者を出した沖縄地上戦の記憶を朗読で表現し、臨場感とピアノ演奏で約1000人の観客を魅了した。また、協力出演した浦添青少年合唱団の響きわたる歌声が未来への希望を与えてくれた。

会場のフロアでは、沖縄平和賞活動や第31回

宿泊研修会で実施した40周年記念の「VOICE～響け翼の声リレーメッセージ～」での正会員・賛助会員等がメッセージを伝えている顔写真をパネル展示した。また、令和6年沖縄北部豪雨災害義援金の募金活動も行い、後日10万円を新聞社へ託した。



- ① 竹下景子氏を囲んで
- ② 開会セレモニー
(沖縄平和賞委員会へ寄付)
- ③ 平和賞と平和活動
- ④ VOICE～響け翼の声リレーメッセージ～
- ⑤ 手前の受付係と開場を待つ来場者
- ⑥ 開場
- ⑦ 「ひめゆりを忘れない」書籍コーナー
- ⑧ 開場前のミーティング
- ⑨ 呉屋実行委員長と鈴木委員

第3回研修・翼講座

伊藤さん・後藤さんと平和談議

期日：2024年10月27日(日)

認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウの副理事長の伊藤和子氏、後藤弘子氏を招き、平和談議を開いた。ヒューマンライツ・ナウの活動を通して女性の人權、沖縄への思い、平和について語ってもらった。

※ヒューマンライツ・ナウは、日本を本拠地とする国際人權NGOで国境を越えた活動をしている団体である。2024年10月28日に第12回沖縄平和賞を受賞した。



受講者の様子



前段左から2番目伊藤和子氏、後藤弘子氏

第4回研修・翼講座

「身近な野草とハーブ」

～講話とハーブティー体験～

期日：2024年11月10日(日)

ハーブインストラクター上級の比嘉美佐子(29期)さんから、身近な野草とハーブの講話を聴きながら美味しいハーブティーをいただいた。受講者からは「近くにも食べられる野草があることがわかった。」「ハーブティーを飲むとリラックスできる」等の感想があった。



講師の比嘉美佐子さん

野草とハーブ



みんな癒されて、幸せ～

法務大臣 感謝状授与

南風原町30期 大城早恵子さん

長年更生保護女性会員として地域社会に貢献する更生保護の実現に向けて取り組んでいます。

Congratulations



沖縄県農林漁業賞受賞

恩納村15期 當山君子さん

農業の経営向上に取り組み農山漁村地域の活性化に貢献された功績は他の模範となるものとして表彰されました。

Congratulations



OH KA WA

沖縄の暮らしを豊かに。

沖縄 大川



賛助会員企業 インタビュー

大きな明日へこれからも心のかよう 「なが〜いおつきあい」を

株式会社琉球銀行

戦後の米軍統治下において、沖縄経済を支える金融機関として設立。以後、県経済の発展に向け、大きな責務を果たしてきた琉球銀行の第11代目の頭取に就任された島袋健頭取をお訪ねしました。県産たんかんジュースをいただきながらごやかな情報交換が行われました。崎原会長が「ご就任おめでとうございます。女性の翼の賛助団体として応援いただきありがとうございます」とお礼を述べ女性の翼事業の報告を行いました。頭取は「琉球銀行は行員と共働でダイバーシティに関する理解の浸透に努めています。女性の活躍に関する情報公表など、男女ともに働きやすい雇用環境の整備を行うため、行動計画を策定し積極的に推進していますよ。共に頑張ってください」と激励いただきました。

その他、新本店ビルなどの話題に会話も広がりました。

同席された多嘉良尚子人事部長と共に、自然体で笑顔で迎えてくださった島袋頭取ありがとうございました。益々のご活躍を祈念いたします。



左側から2番目の多嘉良尚子人事部長、島袋健頭取

地域翼
頑張っ
ています!!

うるま市女性の翼 活動紹介

うるま市女性の翼主催の体験型イベントが2024年12月21日(土)行われました。

崎山淳子会長のもと地域まちづくり応援事業として「ワイワイセッション 食×美×動いて元気!」と銘打って大人も子どもも楽しみました。



会員と準備する崎山会長



うるま市長も料理に挑戦



41期安慶名さんサンタ登場

賛助会員 募集中!

あなたも、女性の翼を応援する一員になりませんか

- ・賛助会員は、女性リーダー育成の応援団!
- ・海外セミナー派遣や各種活動を助成する応援団!

ひとりひとりで増員のご協力を!
個人も団体も可能です。
(年会費 個人3千円/団体1万円)



※賛助会員の方へも講座や研修会の参加案内をいたします

総会のお知らせ 2025年度 定時総会

日時: 2025年5月24日(土) 9時~15時
場所: パシフィックホテル沖縄



募金箱 (沖縄県各部署)

沖縄県各部署の皆さま
加藤登紀子募金箱
※バザー(宿泊研修・ひめゆり)

賛助会員 2024年4月~12月

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 01. 屋良八四五 | 02. 金城京子 | 03. 富着妙子 |
| 04. 喜瀬久子 | 05. 太田敬子 | 06. 山城悦子 |
| 07. 田澤靖代 | 08. 澤岨麻奈 | 09. 島袋恵子 |
| 10. 小川いづみ | 11. 高越淳子 | 12. 仲地薫 |
| 13. 屋宜真由美 | 14. 大城幼子 | 15. 島袋尚江 |
| 16. 砂川正子 | 17. 米須留美子 | 18. 上江洲清子 |
| 19. 川邊恵美子 | 20. 比嘉加代子 | 21. 湧川米子 |
| 22. 工藤江美 | 23. 長嶺智枝 | 24. 国場順子 |
| 25. 上原初恵 | 26. 上原仙子 | 27. 山内ヨシ子 |
| 28. 小那覇理奈 | | |

【寄付一覧】 2024年9月~2025年1月

★寄付金

一般会計・40周年記念事業 (ひめゆりを忘れない)

1. みちのくガイド佐藤 / 2. 前島慶子(15期) / 3. 宮平叫子(1期) / 4. 対馬丸記念会高良政勝 / 5. 普天間初子(25期) / 6. 無記名(1名) / 7. 長濱京子(35期) / 8. 匿名2名

★OK基金

1. テルヤカオリ / 2. ナカムラアケミ / 3. トクムラカツエ / 4. コジアナオキ / 5. キンジョウカズコ / 6. ヘナサロンMA / 7. キタジマカツヨ / 8. ズケランノリコ / 9. 井田豊子 / 10. 喜屋武すま子(28期) / 11. 金城悦子(28期) / 12. ウエチクミコ / 13. 沖縄県女性相談所 / 14. ゴヤハツコ / 15. 湧川財団 / 16. 喜如嘉美佐子 / 17. 砂川キヨ / 18. ハナシロセイジュン / 19. 伊藤和子 / 20. 後藤弘子 / 21. 仲村千恵子(9期) / 22. ミライフアンド / 23. ナカモトタカヨ / 24. ユキマツサイコ / 25. キタジマカツヨ / 26. ちむずれの会 / 27. 石垣エスエスグループ / 28. 田村貢一 / 29. 沖縄県職員の皆様(本庁、各出先機関) / 30. 南風原町役場 / 31. 浦添職業能力開発校 / 32. 匿名1名

編集後記

2024年度は設立40周年という記念の年でした。多くの思い出に残る記念企画を実現させてきました。女性の翼の歩みに残る歴史を刻むことができ、嬉しい思いがあります。40年という年月を経て、先輩から後輩へ繋いでいくこと、共に築き上げていくこと...ニューフェイズ編集を通して、再確認することができました。



女性の自立を支援するOK基金

企業・個人の皆さまのご寄付を宜しくお願いいたします。

- ・みらいファンド沖縄(※税控除あり)
沖縄銀行島堀支店 店番141 普通預金 1416881
公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事 小阪亘



＼ 賛助会員続々入会 ＼

一般社団法人 **沖縄県女性の翼**

沖縄県女性の翼

検索

HP

